

## 鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況

### 位置と地勢

当組合は、鳥取県の西部に位置し、中海を抱く米子市・境港市を中心として西伯郡・日野郡の2市2郡（9市町村）で構成されている。

米子市は、この地域における行政・交通・教育・文化など多面的な中枢機能をもつ山陰有数の商業都市であり、それと隣接する境港市は、日本海に面する重要港湾境港により海外貿易の門戸として、また沖合漁業の基地として知られ、弓浜半島の先端部に位置している。

米子市の南部、法勝寺川の流域平野部に南部町（西伯郡）があり、西域は島根県境と接しており、また名峰「大山」を臨む東部日本海沿岸部には日吉津村・大山町（西伯郡）があり、平坦部には肥沃な農地が拓け、沿岸漁業も盛んである。

一級河川日野川の流域、遠く岡山・広島県境に至る中国山地に日南・日野・江府の各町（日野郡）が位置し、日野路への進入路には米子市と隣接して伯耆町（西伯郡）がある。

### 人口・世帯数・面積

平成31年4月1日現在

構成市町村	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km <sup>2</sup> )
米子市	147,410	61,105	132
境港市	32,841	13,067	29
日吉津村	3,498	1,214	4
大山町	15,740	5,306	190
南部町	10,528	3,522	114
伯耆町	10,688	3,632	139
日南町	4,251	1,802	341
日野町	2,948	1,209	134
江府町	2,758	960	125
合計	230,662	91,817	1,208

(鳥取県市町村別推計人口による)



# 管内常備消防の沿革

## 1. 米子市の消防

明治 26 年 3 月	米子町消防条例を制定し、定員21名、消防ポンプ2台(機種不明)をもって消防組を編成
昭和 2 年 4 月	市制実施
昭和 6 年 4 月	消防ポンプ自動車1台購入配置、森田式タービンポンプ4気筒A型フォード製
昭和 9 年	米子市公設消防組設置、消防ポンプ自動車1台、消防夫20名の常備制をとり、詰所を市役所内に配置
昭和 14 年 4 月	警防団令の施行によって、米子市警防団を結成し、消防組は警防団の消防部として配置
昭和 18 年 4 月	消防部の詰所を富士見町2丁目126番地に移転
昭和 22 年 4 月	消防団令が公布されて、警防団は解散し、新しく米子市消防団が結成されたが、消防部は市の常備消防部として配置
昭和 23 年 9 月	消防組織法の施行により米子市消防本部及び米子市消防署が設置され、消防職員24名、消防ポンプ自動車3台で業務開始、初代吉村泰之消防長就任(収入役兼務)
昭和 24 年 7 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 24 年 9 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 25 年 10 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 26 年 4 月	消防職員43名となる。(内2人は本庁兼務)
昭和 28 年 4 月	消防職員46名となる。(     "     )
昭和 30 年 11 月	消防庁舎を増改築した。木造瓦葺2階建延面積464. 477㎡、消防職員定数54名
昭和 30 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置
昭和 31 年 5 月	第2代船越照郷消防長就任
昭和 31 年 7 月	消防本部係制実施(庶務、予防第一、予防第二、消防、機械の5係)
昭和 32 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 33 年 4 月	指揮車(ジープ型)1台購入配置
昭和 34 年 4 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け配置(損保号)
昭和 37 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置(2号車)
昭和 38 年 7 月	第3代戸田勇消防長就任
昭和 40 年 4 月	第4代吉村純一郎消防長就任
昭和 40 年 9 月	第5代松田宏消防長就任
昭和 42 年 6 月	消防本部に課制実施(警防課、総務課)
昭和 42 年 7 月	消防職員定員65名
昭和 42 年 12 月	救急自動車1台、化学車1台購入配置
昭和 40 年 9 月	広報車1台購入配置(日本消防協会配車)
昭和 41 年 9 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(1号車)
昭和 42 年 12 月	富士見地区区画整理事業実施により富士見町1丁目103番地1に新庁舎を新築移転(鉄筋コンクリート造3階建延総面積13,207㎡)

昭和43年2月	救急業務開始
昭和43年3月	水そう付消防ポンプ自動車1台購入配置(速消車)
昭和43年11月	消防ポンプ自動車1台購入配置(6号車)
昭和44年3月	屈折梯子付消防ポンプ自動車購入配置(スノーケル車)
昭和44年4月	第6代植田実消防長就任
昭和45年3月	消防ポンプ自動車1台購入配置(5号車)
昭和45年11月	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。(火災保険号)
昭和47年4月	消防職員の定数70名
昭和47年5月	指揮車を購入し更新配置した。(指揮1号)
昭和48年4月	消防職員の定数72名
昭和48年12月	救急自動車1台を購入配置(救急2号)
昭和49年1月	小型トラック1台を購入配置(作業車)
昭和49年6月	広報車1台購入配置(広報2号)
昭和50年3月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和50年4月	西伯郡7町村(西伯、岸本、会見、淀江、大山、名和町及び日吉津村)から救急業務を受託して業務開始、消防職員定数77名
昭和50年7月	東京海上火災保険株式会社から広報車1台の寄贈を受け配置(広報1号)
昭和50年8月	鳥取県共済農業協同組合から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急3号)
昭和50年9月	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急1号)
昭和51年1月	第7代名和義則消防長就任
昭和51年4月	皆生1661番地に皆生出張所を開設し、分遣隊による業務開始。鉄筋コンクリート造平屋建延面積391.957㎡、消防職員定数79名

## 2. 境港市の消防

昭和31年5月	境港市消防本部設置(市制施行に伴う) 西村清美団長 団員定数150名(6ヶ分団) 消防ポンプ自動車 6台
昭和31年5月	境港市消防団常備部開設 常備部長 西村清美団長 中嶋登美夫主任 常備部定員14名 消防ポンプ自動車A2級1台(S28.2購入) 消防専用中短波無線電話 基地局1、移動局2 庁舎 木造瓦葺2階建(延106.38㎡) (第1分団(境)の消防車庫を改築し、待機室、仮眠室増設)
昭和33年9月	全市内に上水道消火栓が敷設される。初年度92ヶ所
昭和34年7月	境港市消防本部・消防署設置 林 義人消防長(署長兼務) 署員定数19名

昭和 36 年 5 月	消防庁舎新築(延353. 17㎡) 所在地 境港市上道町1, 600番地
昭和 36 年 11 月	消防署員10名増員 署員定数 29名
昭和 37 年 7 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台配置(損害保険協会より寄贈を受ける)
昭和 39 年 4 月	救急業務開始。救急車(ジープ型)1台配置(日赤鳥取支部より貸与)
昭和 40 年 3 月	救急車(セドリック)更新(日赤貸与)
昭和 42 年 10 月	第2代梶野利雄消防長 (市総務課長兼務)
昭和 42 年 12 月	第3代景山善次郎消防長 (市収入役兼務) 化学消防ポンプ自動車(1型)1台配置 境港市消防保安協会より購入費一部(100万円)採納、購入額4, 345千円
昭和 43 年 3 月	消防専用超短波無線電話設置(中短波を更新)5基(固定局1、基地局4)
昭和 43 年 4 月	消防署組織改編。庶務、警防、予防3係設置
昭和 43 年 9 月	第4代中嶋登美夫消防長 (専任、署長兼務)
昭和 44 年 12 月	消防ポンプ自動車(A1級)1台配置。購入額2, 386千円
昭和 45 年 1 月	救急車(ニッサンB型)1台配置(消防庁より寄贈)
昭和 45 年 4 月	水そう付消防ポンプ自動車(1型、A1級)1台配置。購入額3, 180千円
昭和 46 年 5 月	広報連絡車(三菱ギャラン)1台配置(日本消防協会より寄贈)
昭和 46 年 12 月	消防専用超短波無線電話(移動局)2基増設
昭和 48 年 1 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台増配置。購入額2, 705千円
昭和 48 年 3 月	消防専用超短波無線電話、周波数改正により更新(周波数152. 08MC) 基地局1基、移動局2基
昭和 49 年 3 月	消防専用超短波無線電話、移動局3基更新(周波数改正)
昭和 50 年 4 月	消防本部組織改編、課制施行。消防課、庶務係、警防係、予防係、1課3係
昭和 50 年 9 月	救急車(2B型)1台増配置。(日本消防協会より寄贈)
昭和 50 年 9 月	救急車(セドリック)1台廃棄。(日赤鳥取支部より貸与分)

### 3. 鳥取県西部広域行政管理組合の消防

昭和 51 年 5 月	“鳥取県西部広域消防発足” 鳥取県西部地域における常備消防体制の確立をはかるため、鳥取県西部広域行政管理組合(米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町及び溝口町の2市12町村で構成)においては、昭和51年4月13日政令指定を受け、組合において消防業務を処理することになり、昭和51年5月1日組合消防本部、米子消防署、境港消防署を開庁して業務を開始し、全面業務開始の昭和51年10月1日に向け、庁舎付ポンプ自動車3台、化学消防自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車5台、指揮車1台、査察広報車3台、作業車1台 火災出場は、米子市、境港市の区域とし、救急出場は、米子市、境港市及の建設、人員、器材の整備充足を図ることになった。 発足時の消防勢力は、消防職員数112人、消防ポンプ自動車8台、水そう及び西伯郡の区域とする。 初代名和義則消防長就任
-------------	---

昭和 51 年 6 月 2 日	住友生命相互会社から救急自動車(無線機付)1台の寄贈を受け配置
昭和 51 年 7 月 1 日	消防職員31名採用
昭和 51 年 7 月 16 日	広報車1台購入(日本消防協会配車)
昭和 51 年 8 月 1 日	松江地区消防組合及び安来市能義郡消防組合との間に中海消防相互応援協定を締結
昭和 51 年 9 月 25 日	消防ポンプ自動車2台を購入(江府、大山出張所配置)
昭和 51 年 9 月 30 日	広報車1台を購入
昭和 51 年 10 月 1 日	米子消防署大山出張所及び江府出張所を開設し、管内全域において業務運用開始
昭和 51 年 10 月 2 日	救急指令装置完成
昭和 51 年 11 月 13 日	40m級梯子付消防自動車を購入し、米子消防署に配備
昭和 51 年 11 月 15 日	日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、大山出張所に配置
昭和 52 年 2 月 22 日	消防ポンプ自動車4台購入(西伯、溝口、生山、中山出張所配置)
昭和 52 年 3 月 14 日	消防ポンプ自動車1台購入(弓浜出張所配置)
昭和 52 年 3 月 29 日	古峠山無線中継局が完成
昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員定数208名 消防職員67名を採用し、彦名小学校跡において彦名消防研修所を開設して初任研修を開始
昭和 52 年 4 月 26 日	広報車1台購入(中山出張所配置)
昭和 52 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員4人採用
昭和 52 年 5 月 17 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 52 年 6 月 30 日	彦名消防研修所の研修を修了し、閉所
昭和 52 年 7 月 1 日	米子消防署西伯出張所、同溝口出張所、同生山出張所、同中山出張所の庁舎が完成し、それぞれ業務を開始 境港市小篠津町668番地の仮庁舎で、境港消防署弓浜出張所を開設し、業務を開始
昭和 52 年 9 月 17 日	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 10 月 4 日	鳥取県共済生活協同組合から広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 11 月 1 日	境港消防署弓浜出張所庁舎の工事が完成し、米子市大篠津町2, 913番地1の新庁舎において業務を開始し、仮庁舎を閉所
昭和 52 年 12 月 9 日	消防ポンプ自動車(CD-I)7台を購入し、江府、大山、西伯、溝口、生山、中山、弓浜の各出張所に配置
昭和 53 年 2 月 6 日	株式会社菊屋から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 3 月 31 日	中部広域行政管理組合との間に西部、中部地区消防相互応援協定を締結 消防署に配置
昭和 53 年 6 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員1名採用
昭和 53 年 6 月 9 日	指揮広報車2台を購入し、西伯出張所及び溝口出張所に配置
昭和 53 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員2名採用
昭和 53 年 5 月 30 日	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、米子
昭和 53 年 11 月 27 日	消防ポンプ自動車(CD-I)2台を購入し、米子消防署及び皆生出張所に配置

昭和 53 年 11 月 28 日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 2 月 20 日	救助工作車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 4 月 1 日	消防職員定数220名 消防職員12名採用
昭和 54 年 6 月 5 日	指令広報車1台を購入し、境港消防署弓浜出張所に配置
昭和 54 年 6 月 11 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 1 日	本部総務課に教養係を設け、本部予防課指導係を廃して危険物係、建築係とし、境港消防署に機械係を新設
昭和 54 年 10 月 13 日	境港美保ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 10 月 17 日	水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 27 日	消防ポンプ自動車(BD-I型)1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 54 年 11 月 1 日	山陰酸素工業株式会社から広報車1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 54 年 12 月 1 日	指令広報車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 3 月 26 日	合資会社キョートスポーツから救急車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 4 月 1 日	消防職員定数232名 消防職員14名採用
昭和 55 年 7 月 1 日	中山出張所及び生山出張所救急業務を開始
昭和 55 年 8 月 27 日	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、中山出張所に配置
昭和 55 年 8 月 29 日	日本消防協会から指令広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 10 月 29 日	中山地区前進基地局開局(消防無線呼出名称西部消防中山)
昭和 55 年 11 月 7 日	消防ポンプ自動車(BD-1型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 55 年 11 月 25 日	水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 12 月 5 日	鳥取県消防設備保安協会より原動機付自転車2台及び和文タイプライター1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 12 月 26 日	化学消防自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 1 月 20 日	救急車(3B型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 4 月 1 日	消防職員の定数242名 消防職員14名採用
昭和 56 年 7 月 24 日	空気呼吸器充填用高圧コンプレッサーを皆生出張所に配備
昭和 56 年 9 月 30 日	日本消防協会から小型工作車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 56 年 11 月 30 日	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、皆生出張所に配置
昭和 57 年 4 月 1 日	消防職員定数246名 消防職員9名採用 消防署に昇格) 第2代仲田末男消防長就任
昭和 57 年 5 月 31 日	指揮車1台更新(米子消防署)

昭和 57 年 6 月 1 日	防火基準適合表示制度(「表示マーク」交付)実施
昭和 57 年 7 月 16 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し米子、大山消防署に配置
昭和 57 年 11 月 16 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)1台更新(米子消防署)
昭和 58 年 3 月 31 日	中山地区救急波前進基地局新設
昭和 58 年 4 月 1 日	鳥取県消防学校開校 教官として2名の職員を派遣
昭和 58 年 8 月 31 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け境港消防署に配置
昭和 59 年 2 月 24 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し西伯、中山出張所に配置
昭和 59 年 3 月 9 日	日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け大山消防署 中山出張所に配置
昭和 59 年 7 月 1 日	第3代西田英二消防長就任
昭和 59 年 7 月 20 日	消防本部庁舎に冷房設備を設置
昭和 59 年 12 月 25 日	無線施設空中線塔の改修工事
昭和 60 年 3 月 10 日	境港消防署庁舎に冷暖房設備を設置
昭和 60 年 3 月 20 日	大山消防署中山出張所移転新築落成。中山町松河原弓ノ木880 (起工 昭和59年8月7日)
昭和 60 年 8 月 15 日	境港消防署第2消防車庫新築落成 (起工 昭和60年5月20日)
昭和 60 年 8 月 21 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 61 年 5 月 22 日	指令車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 61 年 9 月 27 日	山陰酸素工業株式会社から連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
昭和 61 年 11 月 25 日	山之内製菓株式会社より救急車1台の寄贈を受け、大山消防署に配置
昭和 62 年 7 月 25 日	指揮車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 62 年 8 月 19 日	江府消防署及び生山出張所の冷暖房設備改修工事
昭和 62 年 9 月 3 日	日本消防協会より電源照明車1台の寄贈を受け、皆生出張所に配置
昭和 63 年 3 月 23 日	日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け、江府消防署に配置
昭和 63 年 4 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員3名採用 定数246名
昭和 63 年 6 月 29 日	大山消防署の冷暖房設備の改修工事
昭和 63 年 7 月 4 日	広報車1台更新(皆生出張所)
昭和 63 年 8 月 2 日	日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け皆生出張所に配置
昭和 63 年 9 月 1 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(BD-Ⅰ型)1台の寄贈を受け米子 消防署に配置
昭和 63 年 11 月 15 日	消防ポンプ自動車[(CD-Ⅰ型)電動ホースカー付]1台を購入
平成 元年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台更新(境港消防署)
平成 元年 3 月 30 日	消防本部の受水槽設備の改修及び米子消防署の車庫排気ダクト 消防職員定数253名 消防職員11名採用
平成 元年 5 月 22 日	広報車2台更新(江府、大山消防署配置) 設備の工事
平成 元年 4 月 1 日	第4代岩佐弘志消防長就任
平成 元年 9 月 25 日	超短波無線電話装置の設置
平成 元年 10 月 1 日	溝口出張所に救急隊設置
平成 元年 10 月 25 日	溝口出張所庁舎の増築、改修工事



平成 元年 10 月 27 日	15m級梯子付消防自動車1台を購入、皆生出張所に配置
平成 元年 10 月 30 日	救助用資機材(ホルマトロ)一式を購入、米子消防署に配置
平成 元年 11 月 2 日	作業車1台更新(米子消防署)
平成 元年 12 月 25 日	溝口出張所に救急自動車(2B型4WD)1台配置
平成 2 年 4 月 1 日	消防職員定数258名 消防職員7名採用
平成 2 年 4 月 1 日	米子消防署皆生出張所に特別救助隊を設置し、業務を開始
平成 2 年 6 月 23 日	広報車3台を購入、皆生、中山、生山出張所に配置
平成 2 年 7 月 31 日	梯子車分解整備、西伯出張所ホース乾燥塔補強
平成 2 年 8 月 21 日	(有)日本消防協会から携帯無線機10台、拡声器2台を寄贈
平成 2 年 8 月 21 日	(有)日本消防協会から指令広報車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 2 年 9 月 6 日	救急車(2B型4WD)を購入、生山出張所に配置
平成 2 年 9 月 18 日	日本防火協会から防火広報車1台寄贈、消防本部に配置
平成 2 年 11 月 21 日	生山出張所改装工事
平成 2 年 11 月 30 日	超短波無線電話装置消防波10W2台、救急波10W3台購入
平成 2 年 12 月 14 日	消防ポンプ自動車2台購入、大山、江府消防署に配置
平成 2 年 12 月 21 日	消防本部防水及び外壁改装工事
平成 3 年 1 月 21 日	危険物第4類試験装置一式購入
平成 3 年 2 月 6 日	安田生命保険相互会社から救急自動車(日産2B型)1台寄贈、境港 消防署に配置
平成 3 年 3 月 20 日	江府消防署敷地拡張造成工事
平成 3 年 3 月 25 日	米子消防署仮眠室空調機取替修繕
平成 3 年 3 月 27 日	油圧切断機1台購入
平成 3 年 4 月 1 日	消防職員定数262名 消防職員15名採用
平成 3 年 4 月 25 日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 3 年 7 月 12 日	査察用軽自動車2台購入 米子消防署、溝口出張所に配置
平成 3 年 8 月 20 日	西伯出張所冷暖房改修工事
平成 3 年 9 月 5 日	(有)日本消防協会から救急車1台寄贈、米子消防署に配置
平成 3 年 10 月 1 日	大山消防署敷地拡張造成工事
平成 3 年 10 月 22 日	消防本部新庁舎建設用地取得
平成 3 年 11 月 27 日	超短波無線電話装置購入 消防波10W2台、救急波1台
平成 4 年 1 月 10 日	消防ポンプ自動車2台購入、中山、生山出張所に配置
平成 4 年 1 月 11 日	消防本部庁舎新築工事着工
平成 4 年 3 月 2 日	空気呼吸器5基、軽量ボンベ9本購入
平成 4 年 4 月 1 日	消防職員定数264名 消防職員4名採用
平成 4 年 5 月 4 日	救急救命士誕生
平成 4 年 7 月 11 日	消防本部主訓練塔新築工事着工 消防本部緊急通信指令施設設置工事着工 消防無線設備改修工事着工 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)

平成 4 年 9 月 16 日 (財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防本部配置  
 平成 4 年 10 月 1 日 消防本部に指令課を新設  
 平成 4 年 12 月 21 日 高規格救急車1台購入、米子消防署配置  
 啓発広報車1台購入、消防本部配置  
 平成 5 年 1 月 22 日 米子消防署救急救命隊発足・業務開始  
 平成 5 年 2 月 28 日 消防本部庁舎新築工事完成  
 平成 5 年 3 月 20 日 消防本部主訓練塔新築工事完成  
 平成 5 年 3 月 26 日 消防本部緊急通信指令施設設置工事完成  
 消防無線設備改修工事完成  
 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)  
 平成 5 年 4 月 1 日 消防本部移転、名称も消防本部から消防局に改名  
 消防職員15名採用  
 平成 5 年 5 月 24 日 査察用軽自動車2台購入  
 中山、生山出張所に配置  
 平成 5 年 6 月 3 日 広報車2台更新(西伯、溝口出張所)  
 平成 5 年 8 月 30 日 (財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防局に配置  
 平成 5 年 10 月 1 日 西伯出張所に救急隊設置  
 平成 5 年 11 月 15 日 西伯出張所の増築・改修工事完成  
 平成 5 年 1 月 26 日 消防ポンプ自動車2台購入、皆生、西伯出張所に配置  
 平成 6 年 2 月 26 日 山之内製薬株式会社より救急車1台寄贈、中山出張所に配置  
 平成 6 年 4 月 1 日 消防職員定員284名  
 消防職員11名採用  
 平成 6 年 5 月 10 日 査察用軽自動車2台購入(皆生出張所・西伯出張所に配置)  
 平成 6 年 5 月 25 日 広報車2台更新(消防局・弓浜出張所に配置)  
 平成 6 年 9 月 29 日 弓浜出張所庁舎の増築・改修・車庫の新築工事完成  
 平成 6 年 10 月 1 日 弓浜出張所に救急隊配備  
 平成 6 年 10 月 13 日 大山消防署救急車の更新  
 平成 7 年 1 月 17 日 阪神・淡路大震災、救助・救急隊災害派遣(1次～4次)  
 平成 7 年 2 月 10 日 溝口出張所1号車の更新  
 平成 7 年 3 月 27 日 (財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、境港消防署に配置  
 (弓浜出張所1号車更新)  
 平成 7 年 4 月 1 日 第5代石上洋二消防局長就任  
 消防職員3名採用  
 平成 7 年 4 月 3 日 境港消防署、救急救命隊発足・業務開始  
 (に配置)  
 平成 8 年 2 月 26 日 米子市から連絡車寄贈、消防局に配置  
 平成 8 年 3 月 26 日 消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置  
 平成 7 年 12 月 23 日 境港消防署、新庁舎完成  
 平成 8 年 1 月 22 日 消防ポンプ自動車3台購入(米子消防署・大山消防署・江府消防署  
 平成 8 年 3 月 28 日 救助工作車(Ⅲ型)1台購入

平成 8 年 4 月 1 日	消防職員定員287名
平成 8 年 4 月 25 日	救助工作車(Ⅲ型)皆生出張所に配置
平成 8 年 5 月 1 日	西部広域消防発足20周年記念式典開催
平成 8 年 12 月 19 日	25m級梯子車1台購入、境港消防署に配置
平成 8 年 12 月 25 日	査察用軽自動車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 9 年 1 月 31 日	消防ポンプ自動車2台購入(西伯出張所・溝口出張所に配置)
平成 9 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 9 年 8 月 20 日	日本宝くじ協会から消火通報指導車寄贈、消防局に配置
平成 9 年 9 月 16 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 9 年 10 月 1 日	大山消防署、救急救命隊業務開始
平成 9 年 11 月 7 日	タンク車及び消防ポンプ自動車各1台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 9 年 11 月 25 日	皆生出張所庁舎の増築・改修工事完成
平成 9 年 12 月 25 日	資機材搬送車1台購入、米子消防署に配置
平成 10 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 10 年 7 月 1 日	境港消防署に水難救助隊を設置し、業務を開始
平成 10 年 7 月 6 日	鳥取県消防防災航空隊の運用を開始した。3名の職員を派遣
平成 10 年 11 月 30 日	江府消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 11 年 1 月 14 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 11 年 1 月 25 日	消防ポンプ自動車2台購入(米子消防署・境港消防署に配置)
平成 11 年 1 月 25 日	タンク車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 2 月 1 日	江府消防署、救急救命隊業務開始
平成 11 年 3 月 10 日	現場指揮車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 3 月 31 日	境海上保安部と鳥取県西部消防局との消防業務協定締結
平成 11 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 11 年 5 月 7 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会設立総会開催
平成 11 年 8 月 19 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会合同訓練会
平成 11 年 12 月 31 日	Y2K越年警戒体制
平成 12 年 1 月 24 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 12 年 1 月 24 日	タンク車1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 1 月 31 日	大山消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 12 年 2 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 3 月 23 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、米子消防署に配置 米子救急救命車を更新
平成 13 年 1 月 15 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 13 年 1 月 16 日	40m級梯子車1台購入、米子消防署に配置
平成 13 年 2 月 1 日	生山出張所、救急救命隊業務開始
平成 12 年 3 月 27 日	大山消防署敷地拡幅
平成 12 年 10 月 6 日	鳥取県西部地震発生(13時30分・マグニチュード7.6)
平成 13 年 2 月 28 日	化学消防自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 13 年 4 月 1 日	第6代清水 隆消防局長就任
平成 13 年 4 月 1 日	消防職員7名採用、防災支援要員4名配置
平成 13 年 4 月 1 日	鳥取県防災監危機管理課に職員1名派遣

平成 13 年 11 月 19 日	高規格救急車1台購入、中山出張所に配置
平成 13 年 12 月 1 日	中山出張所、救急救命隊業務開始
平成 14 年 1 月 31 日	(財)日本損害保険協会からタンク車寄贈、皆生出張所に配置
平成 14 年 1 月 31 日	中山出張所改築改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日	第7代廣谷耕史消防局長就任
平成 14 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 14 年 4 月 1 日	大山消防署特殊災害隊発足
平成 14 年 12 月 20 日	広報車1台購入、皆生出張所に配置
平成 15 年 1 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、江府消防署に配置
平成 15 年 3 月 20 日	指揮車1台購入、境港消防署に配置
平成 15 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 15 年 4 月 1 日	鳥取県防災局消防課に職員1名派遣
平成 15 年 10 月 15 日	広報車2台購入(米子消防署・大山消防署に配置)
平成 15 年 11 月 17 日	高規格救急車1台購入、西伯出張所に配置
平成 15 年 12 月 1 日	西伯出張所、救急救命隊業務開始
平成 16 年 3 月 5 日	広報車2台購入(中山出張所・生山出張所に配置)
平成 16 年 3 月 17 日	指揮車2台購入(大山消防署・江府消防署に配置)
平成 16 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 16 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名を派遣
平成 16 年 10 月 1 日	西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生
平成 16 年 10 月 1 日	米子消防署西伯出張所を米子消防署南部出張所に名称変更
平成 16 年 11 月 29 日	高規格救急車1台購入、溝口出張所に配置
平成 16 年 12 月 15 日	溝口出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 1 月 1 日	岸本町と溝口町が合併し、伯耆町が誕生
平成 17 年 1 月 1 日	江府消防署溝口出張所を米子消防署伯耆出張所に名称変更
平成 17 年 1 月 12 日	消防ポンプ自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 17 年 2 月 23 日	高規格救急車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 17 年 3 月 9 日	弓浜出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 3 月 28 日	大山町・名和町・中山町が合併し、大山町が誕生
平成 17 年 3 月 31 日	指令設備を更新し、高機能指令システムを導入
平成 17 年 3 月 31 日	米子市と淀江町が合併し、米子市が誕生
平成 17 年 4 月 1 日	第8代中田正男消防局長就任
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員定員292名
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員8名採用
	救急救命隊業務開始
平成 17 年 12 月 21 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、皆生出張所に配置
平成 18 年 2 月 28 日	タンク車1台購入、伯耆出張所に配置
平成 17 年 11 月 20 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 17 年 12 月 1 日	皆生出張所、米子消防署救急2分隊高規格救急車を使用し
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 18 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 18 年 11 月 24 日	米子市危険物保安協会から広報車1台寄贈、消防局に配置

平成 19 年 2 月 23 日	タンク車1台購入、大山消防署に配置
平成 19 年 4 月 1 日	米子消防署 新庁舎完成
平成 19 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 19 年 11 月 28 日 ～ 29 日	平成19年度中国・四国ブロック 緊急消防援助隊合同訓練
平成 19 年 12 月 24 日	化学車1台購入、米子消防署に配置
平成 19 年 12 月 31 日	消防無線基幹改良工事
平成 20 年 1 月 31 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 20 年 4 月 1 日	第9代浦木 昇消防局長就任
平成 20 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 20 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 21 年 1 月 28 日	消防ポンプ自動車1台購入、 生山出張所に配置
平成 21 年 2 月 19 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 21 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 21 年 11 月 2 日	高度救助隊発足
平成 21 年 12 月 9 日	国際消防救助隊編成協力市町村の登録
平成 22 年 1 月 26 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 22 年 2 月 15 日	消防ポンプ自動車1台購入、 皆生出張所に配置
平成 22 年 3 月 26 日	高規格救急車1台購入、境港消防署に配置
平成 22 年 4 月 1 日	第10代桑名 強消防局長就任
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定員304名となる。
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員14名採用
平成 22 年 4 月 1 日	国際消防救助隊員6名登録
平成 23 年 1 月 14 日	支援車 I 型を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 23 年 2 月 24 日	消防ポンプ自動車2台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 23 年 3 月 7 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 23 年 3 月 12 日 ～ 21 日	東日本大震災により、宮城県南三陸町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員定員313名
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員20名採用
平成 23 年 7 月 2 日	消防救急デジタル無線 一部運用開始(救急業務のみ)
平成 23 年 12 月 9 日	伯耆出張所庁舎改修
平成 23 年 12 月 19 日	消防ポンプ自動車2台購入、伯耆出張所・南部出張所に配置
平成 23 年 12 月 21 日	作業車1台購入、消防局に配置
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員定員322名
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員18名採用
平成 24 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 23 年 12 月 22 日	南部出張所庁舎改修
平成 23 年 3 月 21 日	屈折梯子車1台購入、皆生出張所に配置
平成 24 年 4 月 13 日	鳥取西部農業協同組合から高規格救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 24 年 12 月 17 日	消防ポンプ自動車3台購入、境港消防署・大山消防署・江府消防署に配置
平成 25 年 2 月 13 日	化学車1台購入、境港消防署に配置
平成 25 年 2 月 21 日	弓浜出張所庁舎改修
平成 25 年 2 月 28 日	生山出張所庁舎改修
平成 25 年 3 月 11 日	人員搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 25 年 4 月 1 日	第11代武本和之消防局長就任
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員定員327名
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員15名採用

平成 26 年 2 月 20 日	機動連絡車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 26 年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 26 年 3 月 6 日	江府消防署庁舎改修、車庫新設
平成 26 年 3 月 13 日	救助工作車Ⅲ型1台購入、皆生出張所に配置
平成 26 年 3 月 14 日	高規格救急車1台購入、南部出張所に配置
平成 26 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員定員319名
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員20名採用
平成 26 年 7 月 3 日	消防広報車1台を購入、消防局に配置
平成 26 年 12 月 22 日	救命ボート1隻を購入、境港消防署へ配置
平成 27 年 1 月 23 日	ボートトレーラー1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年 2 月 25 日	高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年 2 月 26 日	高規格救急自動車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 27 年 3 月 6 日	水難救助支援車1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年 3 月 16 日	米子消防署皆生出張所移転先用地取得 (3,113.11㎡)
平成 27 年 3 月 17 日	高機能消防指令センター更新整備
平成 27 年 4 月 1 日	第12代木山文也消防局長就任
平成 27 年 4 月 1 日	消防職員定員314名
平成 27 年 4 月 1 日	消防職員14名採用
平成 27 年 6 月 30 日	消防査察自動車2台購入、消防局、米子消防署に配置
平成 27 年 7 月 10 日	消防査察自動車1台寄付受納、(株)上田商事様 米子消防署に配置
平成 27 年 12 月 24 日	日南前進基地局(生山無線中継局)解体撤去
平成 28 年 1 月 6 日	大山消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年 1 月 6 日	江府消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年 2 月 26 日	高規格救急自動車2台を購入、皆生出張所、弓浜出張所に配置
平成 28 年 2 月 29 日	消防ポンプ自動車2台を購入、南部出張所、生山出張所に配置
平成 28 年 3 月 31 日	米子消防署皆生出張所移転先用地造成工事完了
平成 28 年 4 月 1 日	消防職員定員312名
平成 28 年 4 月 1 日	消防職員26名採用
平成 28 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 28 年 4 月 16 日 ～ 21 日	熊本地震により、熊本県益城町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 28 年 6 月 29 日	米子消防署皆生出張所新築移転工事着工(平成29年5月完成予定)
平成 29 年 1 月 26 日	高規格救急自動車1台を購入、大山消防署に配置
平成 29 年 2 月 28 日	消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、伯耆出張所に配置
平成 29 年 3 月 8 日	消防ポンプ自動車1台を購入、弓浜出張所に配置
平成 28 年 9 月 20 日	消防査察自動車1台購入、消防局に配置
平成 29 年 1 月 12 日	消防広報車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 29 年 4 月 1 日	第13代天野智消防局長就任
平成 29 年 4 月 1 日	消防職員定員314名
平成 29 年 4 月 1 日	消防職員19名採用
平成 29 年 5 月 27 日	米子消防署皆生出張所新築移転工事完了
平成 29 年 6 月 1 日	米子消防署皆生出張所新庁舎運用開始(鉄骨造2階建延面積1320.53㎡)
平成 29 年 11 月 24 日	消防広報車2台を購入、南部出張所、弓浜出張所に配置
平成 29 年 12 月 27 日	消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、中山出張所に配置

平成30年	4月	1日	第14代藤山史郎消防局長就任
平成30年	4月	1日	消防職員定数316名
平成30年	4月	1日	消防職員18名採用
平成30年	4月	1日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成30年	7月	12日 ～24日	平成30年7月豪雨により、広島県広島市安芸区及び安芸郡海田町へ緊急消防援助 隊鳥取県隊として出動
平成31年	3月	20日	高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
平成31年	3月	27日	資機材搬送車1台を購入、米子消防署に配置
平成31年	3月	27日	消防広報車1台を購入、米子消防署に配置
平成31年	4月	1日	消防職員定数300名
平成31年	4月	1日	消防職員11名採用

## 歴代の管理者・議長

### 歴代管理者

米子市長	河合弘道	(S47. 4. 30～S58. 4. 29)
〃	松本徹	(S58. 4. 30～H 3. 4. 29)
〃	森田隆朝	(H 3. 4. 30～H15. 4. 29)
〃	野坂康夫	(H15. 4. 30～H29. 4. 23)
〃	伊木隆司	(H29. 4. 24～ )

### 歴代議長

初代	足立六郎	(米子市) S47. 8.16～S50. 4.30
二代	田丸喜久治	( 〃 ) S50. 7.28～S54. 4.30
三代	安達昭男	( 〃 ) S54. 6. 2～S56. 6.29
四代	田村繁夫	( 〃 ) S56.10.16～S57.12. 9
五代	福谷清	( 〃 ) S58. 1.31～S58. 4.30
六代	広江弼	( 〃 ) S58. 6.10～S59. 7.19
七代	国尾茂	( 〃 ) S59.10. 8～S61. 7.17
八代	茅野恒治	( 〃 ) S61. 9. 5～S62. 4.30
九代	種原敏彦	( 〃 ) S62. 6.11～H元. 6.23
十代	塚田喜美	( 〃 ) H元. 6.23～H 3. 4.30
十一代	福谷清	( 〃 ) H 3. 6.13～H 5. 6.25
十二代	足芝孝幸	( 〃 ) H 5.10.25～H 7. 4.30
十三代	間瀬庄作	( 〃 ) H 7. 7.13～H11. 4.30
十四代	平田賢	( 〃 ) H11. 7.29～H13. 6.22
十五代	中本実夫	( 〃 ) H13. 7.12～H15. 4.30
十六代	生田薫	( 〃 ) H15. 7.28～H17. 3.30
十七代	生田薫	( 〃 ) H17. 4.15～H18. 6.30
十八代	吉岡知己	( 〃 ) H18. 7.20～H20. 7.10
十九代	中村昌哲	( 〃 ) H20. 7.25～H22. 6.30
二十代	渡辺照夫	( 〃 ) H22. 8.24～H24. 6.29
二十一代	松井義夫	( 〃 ) H24. 6.29～H26. 6.30
二十二代	渡辺穰爾	( 〃 ) H26. 8.28～H28. 8. 3
二十三代	尾沢三夫	( 〃 ) H28. 8. 3～H30. 6.30
二十四代	渡辺穰爾	( 〃 ) H30. 8.30～

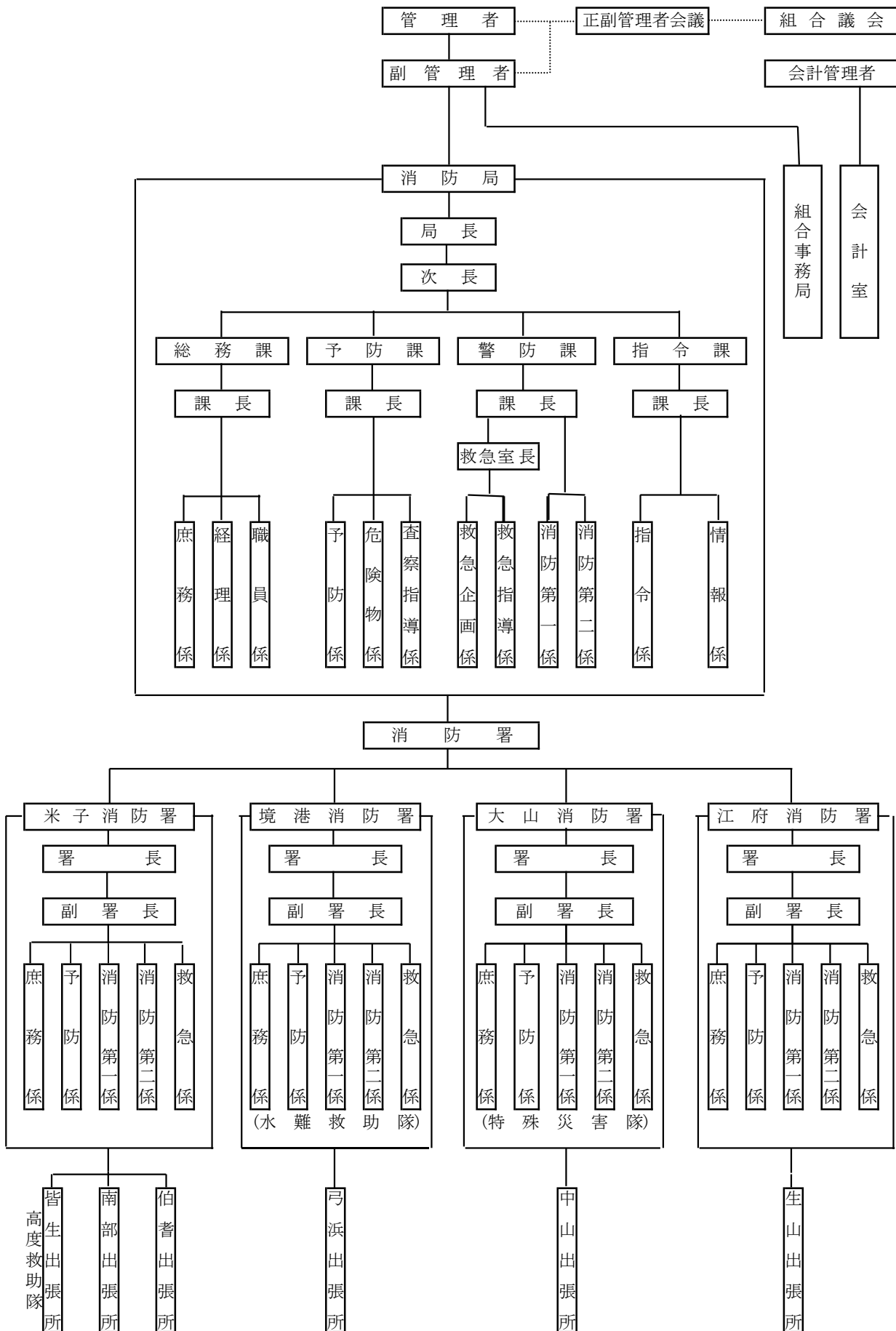


## 歴代の消防長

### 歴代消防長・消防局長

初代消防長	名和義則	S51. 5. 2~S57.3.31
第二代消防長	仲田末男	S57. 4. 1~S59.6.30
第三代消防長	西田英二	S59. 7. 1~H元. 3.31
第四代消防長	岩佐弘志	H元. 4. 1~H 7.3.31
第五代消防局長	石上洋二	H 7. 4. 1~H13.3.31
第六代消防局長	清水隆	H13. 4. 1~H14.3.31
第七代消防局長	廣谷耕史	H14. 4. 1~H17.3.31
第八代消防局長	中田正男	H17. 4. 1~H20.3.31
第九代消防局長	浦木昇	H20. 4. 1~H22.3.31
第十代消防局長	桑名強	H22. 4. 1~H25.3.31
第十一代消防局長	武本和之	H25. 4. 1~H27.3.31
第十二代消防局長	木山文也	H27. 4. 1~H29.3.31
第十三代消防局長	天野智	H29. 4. 1~H30.3.31
第十四代消防局長	藤山史郎	H30. 4. 1~

# 鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図



# 消防機関の出動状況等

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

区 分		種 別	計	火 災	救 急	助
			(ア)～(ス)	(ア)	(イ)	(ウ)
消・ 防署 局所	出 動 回 数		15,556	119	11,702	149
	出 動 延 人 員		60,242	1,460	38,564	2,218

救 急 応 援 (エ)	風 水 害 (オ)	そ の 他 警 戒 (カ)	火 災 誤 報 (キ)	演 習 訓 練 (ク)
996	5	206	33	33
7,205	24	865	735	260

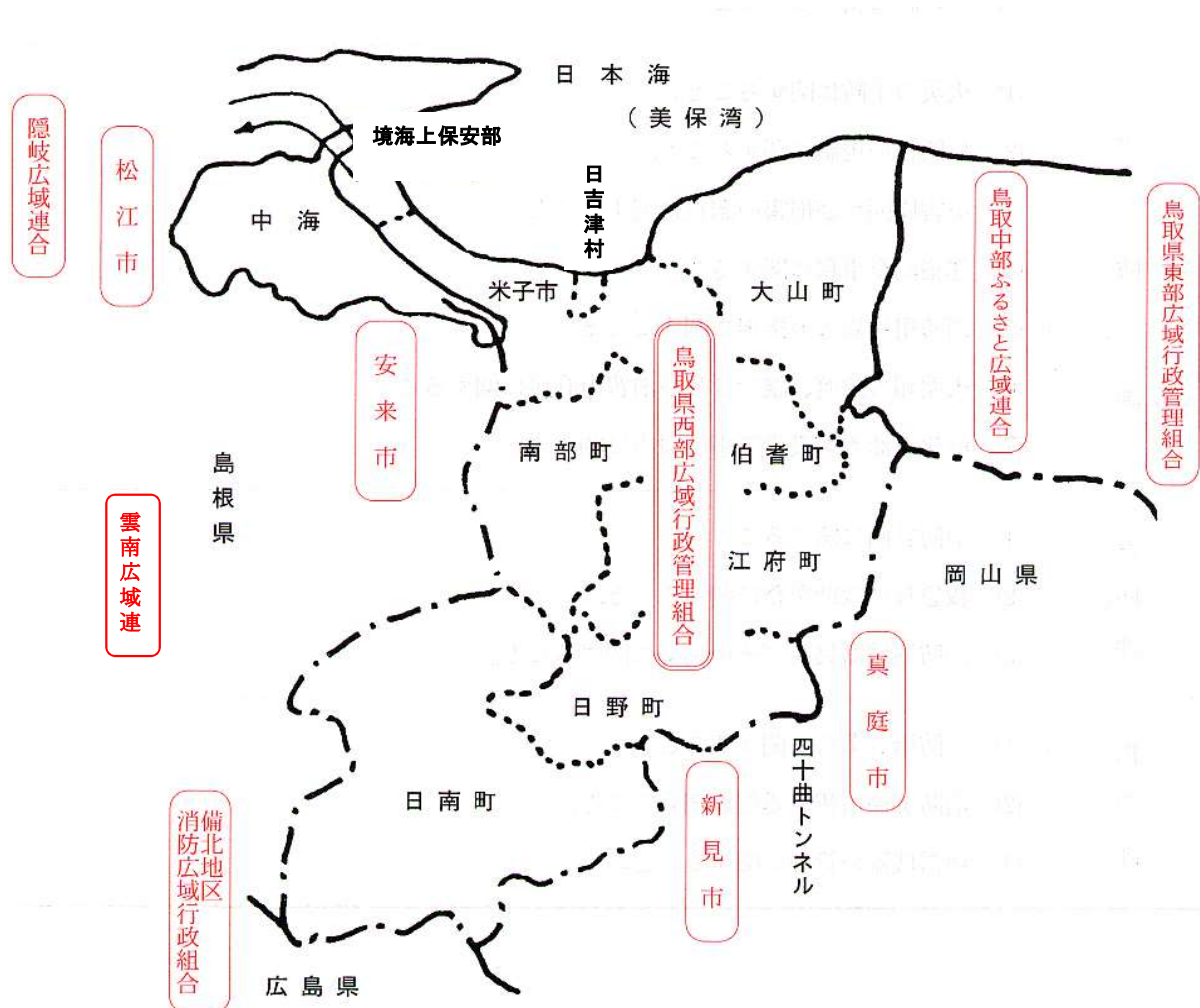
※救急応援の出動延べ人数は、救急隊の出動人数を含む。

訓 練 ・ 指 導 (ケ)	警 防 調 査 (コ)	火 災 原 因 調 査 (サ)	特 別 警 戒 (シ)	予 防 査 察 (ス)
410	144	119	41	1,599
2,095	571	952	177	5,116

## 相互応援協定

平成31年4月1日現在

名 称	協 定 団 体	締結・改訂年月日
中海・宍道湖・大山圏域消防相互応援協定	松江市 (島根県) 安来市 ( " ) 出雲市 ( " )	平成28年 7月 8日
隠岐島の救急業務の共同処理	松江市 (島根県) 出雲市 ( " ) 隠岐広域連合 ( " )	平成14年 1月 1日 (改)
高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線における消防相互応援に関する協定	真庭市 (岡山県)	平成17年10月 1日 (改)
山陰道(米子西～安来)における消防相互応援に関する協定	安来市 (島根県)	平成24年 3月14日
鳥取県下広域消防相互応援協定	鳥取県東部広域行政管理組合 鳥取中部ふるさと広域連合	平成19年 4月30日 (改)
鳥取県西部広域行政管理組合と備北地区消防広域行政組合の消防相互応援協定	備北地区消防広域行政組合 (広島県)	平成12年 3月31日
消防相互応援に関する協定書	新見市 (岡山県)	平成17年10月 1日
	真庭市 ( " )	(改)
	雲南広域連合 (島根県)	平成23年 9月 1日(改)



# 事 務 分 掌

## 1. 消防局事務分掌

平成31年4月1日現在

総 務 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人事、給与、服務及び例規に関すること。</li> <li>(2) 総合計画及び企画に関すること。</li> <li>(3) 予算及び経理に関すること。</li> <li>(4) 消防用財産に関すること。</li> <li>(5) 職員の研修に関すること。</li> <li>(6) 他の課に属さないこと。</li> </ul>
予 防 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 火災の予防に関すること。</li> <li>(2) 危険物の規制に関すること。</li> <li>(3) 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>(4) 建築同意事務に関すること。</li> <li>(5) 消防用設備等の指導に関すること。</li> <li>(6) 火薬類の譲渡、譲受け及び消費の許可に関すること。</li> <li>(7) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。</li> </ul>
警 防 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防計画に関すること。</li> <li>(2) 救急及び救助業務に関すること。</li> <li>(3) 消防機械器具及びその装備に関すること。</li> </ul>
指 令 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防指令業務に関すること。</li> <li>(2) 消防関係情報の処理に関すること。</li> <li>(3) 通信機器の管理に関すること。</li> </ul>

## 2. 消防署事務分掌

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 署内人事及び賞罰に関すること。</li> <li>(2) 署員の教養訓練及び服務に関すること。</li> <li>(3) 経理に関すること。</li> <li>(4) 各種統計に関すること。</li> <li>(5) 他の分掌に属さないこと。</li> </ul>
予防係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害の調査に関すること。</li> <li>(2) 予防査察に関すること。</li> <li>(3) 危険物の規制に関すること。</li> <li>(4) 建築同意に関すること。</li> <li>(5) 火災予防の啓発、宣伝に関すること。</li> <li>(6) 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>(7) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。</li> </ul>
消防第一係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 水火災の警戒、防ぎよに関すること。</li> <li>(2) 水火災の警防計画に関すること。</li> <li>(3) 消防訓練の実施に関すること。</li> <li>(4) 災害の情報の処理に関すること。</li> <li>(5) 救助業務に関すること。</li> <li>(6) 消防用器具の維持管理に関すること。</li> </ul>

消防 第二 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防機械に関する教養及び訓練に関すること。</li> <li>(2) 消防機械の整備、保全及び検査に関すること。</li> <li>(3) 消防用地理、水利の点検、調査及び情報に関すること。</li> <li>(4) 通信指令機器の維持管理に関すること。</li> </ul>
救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急隊業務に関すること。</li> <li>(2) 救急指定医療機関との連携調整に関すること。</li> <li>(3) 救急統計、報告等に関すること。</li> </ul>

### 3. 出張所事務分掌

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 火災その他災害防ぎよに関すること。</li> <li>(2) 文書の收受、発送及び記録の整備保全に関すること。</li> <li>(3) 庁舎の維持管理及び諸物品の保管に関すること。</li> <li>(4) 所属職員の教養訓練に関すること。</li> <li>(5) 予防査察に関すること。</li> <li>(6) 火災予防条例による届出に基づく調査指導に関すること。</li> <li>(7) 火災予防の啓発、宣伝に関すること。</li> <li>(8) 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>(9) 消防用地理、水利の点検及び調査に関すること。</li> <li>(10) 消防用器具及び消防機械の整備保全に関すること。</li> <li>(11) 水火災その他災害情報連絡及び消防通信に関すること。</li> <li>(12) 救急業務に関すること。</li> <li>(13) 救助業務に関すること。</li> <li>(14) その他出張所に関すること。</li> </ul>
---

# 消 防 職 員

(1-1) 職員配置状況

平成31年4月1日現在

区 分	条 例 定 員	実 員	消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	事 務 職 員
平元. 4. 1	253	253	1	2	6	7	33	52	28	112	2
平 2. 4. 1	258	258	1	2	6	7	36	57	32	115	2
平 3. 4. 1	262	262	1	2	6	11	38	59	33	110	2
平 4. 4. 1	264	264	1	2	6	11	43	63	33	103	2
平 5. 4. 1	277	277	1	2	6	13	48	63	43	99	2
平 6. 4. 1	284	284	1	1	7	14	49	66	53	91	2
平 7. 4. 1	284	284	1	2	8	12	54	67	55	83	2
平 8. 4. 1	287	284	1	2	8	12	60	71	53	75	2
平 9. 4. 1	287	287	1	2	8	12	63	72	53	74	2
平10. 4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平11. 4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平12. 4. 1	287	286	1	2	8	13	63	74	56	67	2
平13. 4. 1	287	287	1	2	8	14	63	74	57	66	2
平14. 4. 1	287	287	1	2	8	15	63	82	51	63	2
平15. 4. 1	287	287	1	2	8	15	64	91	38	66	2
平16. 4. 1	287	287	1	2	9	33	59	91	37	53	2
平17. 4. 1	292	290	1	3	11	38	63	90	36	46	3
平18. 4. 1	292	291	1	2	12	47	72	91	29	34	3
平19. 4. 1	292	292	1	2	14	45	77	89	28	33	3
平20. 4. 1	292	292	1	2	14	47	78	89	27	31	3
平21. 4. 1	292	292	1	5	11	49	77	110	3	34	2
平22. 4. 1	304	303	1	3	14	54	79	113	11	26	2
平23. 4. 1	313	313	1	3	15	62	102	81	4	43	2
平24. 4. 1	322	321	1	3	16	68	99	76	0	56	2
平25. 4. 1	327	327	1	1	19	75	99	64	14	52	2
平26. 4. 1	319	318	1	3	17	64	95	63	20	51	2
平27. 4. 1	314	314	1	3	17	75	87	54	26	49	2
平28. 4. 1	312	311	1	6	13	73	78	52	30	57	1
平29. 4. 1	314	314	1	3	16	74	75	51	36	57	1
平30. 4. 1	316	314	1	4	15	69	69	54	39	62	1
平31. 4. 1	300	300	1	3	16	59	64	52	54	50	1



## (1-2) 職員配置状況

平成31年4月1日現在

		実 員	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
消 防 局	消防局長	1	1								
	次 長	1		1							
	総務課	7(1)		(1)	1	3	2				1
	予防課	6			1	4	1				
	警防課	7			3	3	1				
	指令課	14			2	6	3	3			
	派遣中の者	15				1	2	1		11	
米 子 消 防 署	本 署	56		1	2	8	15	7	12	11	
	皆生出張所	26			1	3	9	12	1		
	南部出張所	14				2	3	3	3	3	
	伯耆出張所	14				2	3	2	4	3	
境 港 消 防 署	本 署	43		1	2	7	8	9	11	5	
	弓浜出張所	14				2	3	2	4	3	
大 山 消 防 署	本 署	27			2	7	4	4	6	4	
	中山出張所	14				2	3	2	4	3	
江 府 消 防 署	本 署	27			2	7	4	4	6	4	
	生山出張所	14				2	3	3	3	3	
合 計		300 (1)	1	3(1)	16	59	64	52	54	50	1

( )は兼務

## (2) 職員在職年数

平成31年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	300	1	3	16	59	64	52	54	50	1
平均年数	15	34	39	36	30	19	7	4	1	17
1年未満	11								11	
1年	18								18	
2年	18								18	
3年	25							22	3	
4年	11							11		
5年	18						2	16		
6年	15						10	5		
7年	17					1	16			
8年	17					2	15			
9年	13					5	8			
10年	4					4				
11年	3					3				
12年	2					1	1			
13年	2					2				
14年	8					8				
15年	1					1				
16年	3					3				
17年	3					2				1
18年	5					5				
19年										
20年	1					1				
21年	1					1				
22年	5				3	2				
23年										
24年	3				1	2				
25年	11				5	6				
26年	13				7	6				
27年	4				1	3				
28年	11				9	2				
29年	6			1	4	1				
30年	11				10	1				
31年	3			1	2					
32年	4			2	2					
33年	4			1	2	1				
34年	4	1		1	2					
35年	3			1	2					
36年	2				2					
37年	7			4	3					
38年	3		1	1	1					
39年	4		2	2						
40年	5			2	3					
41年	1					1				
42年										
43年										
44年										
45年										

## (3) 職員年齢構成

平成31年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	300	1	3	16	59	64	52	54	50	1
平均年齢	35.4	57.0	57.0	55.0	49.6	40.3	29.7	24.9	21.5	43.0
18歳未満										
18歳	5								5	
19歳	6								6	
20歳	10								10	
21歳	14							6	8	
22歳	12							8	4	
23歳	12							7	5	
24歳	13							7	6	
25歳	12						5	4	3	
26歳	12						6	4	2	
27歳	11						4	7		
28歳	10						5	4	1	
29歳	8						5	3		
30歳	12					2	8	2		
31歳	12					3	7	2		
32歳	5					2	3			
33歳	3					2	1			
34歳	5					3	2			
35歳	4					1	3			
36歳	6					4	2			
37歳	6					5	1			
38歳	4					4				
39歳	2					2				
40歳	5					5				
41歳	5					5				
42歳	3					3				
43歳	7				3	3				1
44歳	12				6	6				
45歳	6				2	4				
46歳	11				8	3				
47歳	7				5	2				
48歳	8				7	1				
49歳	6			1	4	1				
50歳	6			1	4	1				
51歳	3			1	2					
52歳	3			1	2					
53歳	2				2					
54歳	4			1	3					
55歳	5			2	3					
56歳	4		1	3						
57歳	7	1	1	4	1					
58歳	5		1		3	1				
59歳	6			2	4					
60歳										
61歳	1					1				

(4) 職員研修

ア. 委託研修(その1)

平成31年4月1日現在

年度別 教育内容	計	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
		年 以前	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
本 科	10	5		1		1				1			1			1																
幹 部 科	3		1																	1	1											
上 級 幹 部 科	3	1																		1							1					
予 防 科	18	10				1			1		1												1	1	1	1			1			
警 防 科	14	7			1		1	1					1					1					1			1						
救 急 科	10	4		1													2								1		1		1			
救 助 科	10	1	1		1						1		1								1			1			1	1		1		
消 防 大 学 校																			1									1			1	
危 険 物 ( 保 安 ) 科	4	1																1									1				1	
火 災 原 因 調 査 科	2	2																														
機 械 技 術 者 養 成 科	1	1																														
火 災 調 査 科	2																1											1				
火 災 調 査 講 習 会	5		1	1							1	1	1																			
危 機 管 理 セ ミ ナ ー	3															1	1	1														
緊 急 消 防 援 助 隊 教 育 科 ( N B C 対 策 コ ー ス )	2																	1												1		
緊 急 消 防 援 助 隊 教 育 科 ( 指 揮 隊 長 コ ー ス )	5																	1						1		1	1	1		1		
高 度 救 助 コ ー ス	2																					1			1							
防 災 講 習 会	1							1																								
危 機 管 理 講 習 会	1								1																							
違 反 是 正 特 別 講 習	1																									1						
女 性 活 躍 推 進 コ ー ス	1																														1	
島 根 県 消 防 学 校	1																1															
山 口 県 消 防 学 校 ( 水 難 救 助 課 程 )	2																													1	1	
救 急 救 命 東 京 研 修 所	46			1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	3	2	2	2	1	1	1	1	1	2		2	2	2
救 急 救 命 九 州 研 修 所	44							2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	4	2	2	2
救 急 救 命 士 業 務 実 地 修 練	13				1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1								1	1		1				
海 上 自 衛 隊 第 一 術 科 学 校	4									2	1	1																				
独 立 行 政 法 人 海 洋 研 究 開 発 機 構 ( 潜 水 技 術 研 修 )	9													2	2	2	1	1	1													
海 上 自 衛 隊 舞 鶴 潜 水 技 術 研 修	2																								1	1						
陸 上 自 衛 隊 化 学 学 校	1												1																			
鈴 鹿 サ ー キ ッ ト 交 通 教 育	6														1	1	1	1	1	1												
安 全 運 転 管 理 者 研 修	9																					1	1	1	1		2	1	1	1	1	

(4) 職員研修

イ. 委託研修(その2)

平成31年4月1日現在

年度別 教育内容	計	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
		年 以 前	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年		
初任教育	229	37	7	11	4	15	11	3		5	1	1		7	3	3		8	2	2	3	5	14	20	18	15	20	14					
初任総合教育	45																												26	19	18		
現任教育	38	28	10																														
幹部教育	112	30	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4					5										
上級幹部教育	10																								5			5					
中級幹部教育	30																			5	5	5	5		5			5			5		
初級幹部科	10																									5			5				
課・署長研修会	5															5																	
救急Ⅰ課程	68		12			15	15	15	11																								
救急Ⅱ課程	180			11	11	11	11	11	25	20	20	8	12	7	21	12																	
救急科	162											6	4	7		12	11		6	8	7		14	20	18	15	20	14					
救急実務研修会	14											3		3	3	5																	
救急救命士講習(挿管)	42																8	22	12														
救急救命士講習(薬剤)	44																		6	16	8	14											
外傷研修	25																	5	10	10													
危険物科	30		5		5							5												5			5				5		
救助科	99	20		5	5			5	5	5			5	5	5	5	5	5				4	5		5		5		5		5		
特殊災害科	24																5	5	4						5			5				5	
無線通信科	19		5							14																							
機関科	10			5							5																						
火災調査科	54				5			5	4	5	5		5	5	5		5									5			5				
電気設備科	14	9		5																													
予防査察科	49	10				4											5		5		5	5		5		5		5		5		4	
警防科	38					4	5			4					5		5								5		5		5		5		
予防科	25			5			5				5					5					5												
梯子自動車講習会	12					12																											
昇任者研修	11																					6	5										
指揮研修	45																					5		10	10	10	10						
管理職研修	15																						5	5	5								
警防研修	13																									1	3	3	3		3	3	
救助研修	13																									3	5	5					
実火災体験型訓練コース	59																											20	19	20		15	
予防研修(違反是正コース)	10																													5	5	5	

(5) 職員採用試験(平成31年4月1日採用)

第 1 次 教養試験 }  
適性検査 } 平成30年 9月16日 鳥取県消防学校  
体力試験 }

第 2 次 作文試験 }  
面接試験 } 平成30年10月20日 消 防 局

	総 数	試験区分(1)	試験区分(2)
応 募 者	59	43	16
合 格 者	11	6	5

○試験区分(1)：平成 3年4月2日以降に生まれた方

○試験区分(2)：平成31年3月高等学校卒業見込みの方

